

国立看護大学校 Faculty Development (FD)活動報告

2010年4月～2011年3月

本学における教育の質の向上および改善を目指して、2010年度は7回のFD研修会を開催し、年度計画を達成した。

1. 「特定看護師(仮称)」に関する日本看護系大学協議会の取り組み状況

日時；2010年6月8日火曜日 16時20分～17時30分

場所；101教室

講師；田村やよひ大学校長

内容；厚生労働省において、チーム医療の推進に関する検討が進み、その中で従来、看護師が行ってきた以上の医行為ができる特定看護師(仮称)が提案されている。それについて日本看護系大学協議会としては、専門看護師の発展型としてこの特定看護師(仮称)を考えるべきであるとし、特定専門看護師の名称で43単位の教育内容の検討をすることとしている。これらの議論の経緯と現状を紹介し、将来の看護のあるべき方向について討議した。

2. 倫理審査で問題となる臨床研究デザインについて

日時；2010年6月17日木曜日 16時20分～17時

場所；301教室

講師；小澤三枝子教授

内容；厚生労働科学研究などを推進する際には、臨床研究の枠組みが重要であり、確実に研究成果を産出できる研究をデザインする必要がある。研究の科学性と実行可能性を熟考し、分析方法や研究成果活用の方向性まで見通したプロトコールを作成するための要件について、最新の倫理審査状況を踏まえて議論した。

3. グラミン銀行の貧困撲滅の取り組みと看護教育

日時；2010年11月11日木曜日 16時30分～18時

場所；101教室

講師；田村やよひ大学校長

内容；2006年にノーベル平和賞を受賞したバングラデシュのグラミン銀行の貧困撲滅の取り組みを紹介するとともに、グラミン銀行の活動の一環として健康を守る看護師の教育が開始された現状を紹介しながら、国立看護大学校において同銀行との連携、協力が可能であるかについて議論した。

4. SPSS の実際について

日時；2010年12月9日木曜日 16時30分～18時

場所；3階情報処理室

講師；柏木公一准教授

内容；看護研究を行う際の有力なツールであるSPSSについて、仕組みと適用および検定の実例を示し、参加者が操作しながら学習した。

5. スウェーデンに見る看護の可能性

日時；2011年1月13日木曜日 11時～12時30分

場所；101教室

講師；小林秀行講師

内容；スウェーデンで看護研究に当たった小林講師が、スウェーデンの看護や医療、その基盤となる国政の状況や国民性について紹介し、医療の適用の実際を考えながら、税と社会保障のあり方についても議論した。

6. 図書館利用の活性化

日時；2011年2月10日木曜日 14時30分～15時30分

場所；101教室

講師；佐々木和子図書館長

内容；本学図書館の利用を活性化し、授業と研究の向上に資するために、単に要望を出すのではなく、FDメンバーが把握する

各地・各大学図書館の情報を披露し合った。また、それを通し、本学図書館のあるべき姿を考え、利用の促進に資するアイデアを出し活性化に資した。

7. 個人情報保護及び途上国との共同研究

日時；2011年3月14日 月曜日 11時30分～12時

場所；201教室

講師；森山幹夫教授

内容；研究に当たって個人情報保護が大事であり、その意義や手順などについて講義した。また、治験などを開発途上国と共同で行うに当たっての考え方の変遷と背後にあるヘルシンキ宣言の改訂の意義を講義した。